

環境活動団体票

だん たい めい 団 体 名	とくていひ えいりかつどうほうじん む こ が わ 特定非営利活動法人 武庫川ECO-LABO			
所在地	兵庫県尼崎市元浜町4-77			
代表者	役職・氏名	理事長 宮本 悦男		
	住所	—		
連絡先	TEL	06-6416-1937	FAX	—
	E-mail	e-miyamoto@mukogawaeco-labo.com		
	担当者氏名	宮本 悦男		
設立年月日	2019年10月29日			
会員・構成員数	10人			
団体の目的	尼崎の海に来る釣り人に協力を要請し、魚を有効活用する「フィッシュシェアリング」を通して、尼崎の海と魚をPRする事を目的とする			
主な活動場所	尼崎南部の海、尼崎港周辺			
主な活動内容	<p>尼崎の海には、年間10万人の釣り人が訪れます。その釣り人に釣れた魚の余剰分を頂き、当団体で調理・加工し、真空冷凍にて保存しています。魚を必要とする子供食堂さんへの食材提供を中心に、市内飲食店や食育活動団体へ寄付する事で、尼崎の海や魚のPR活動を行う事を目的に活動しています。また魚の提供以外にも当団体活動地に子供達を呼んで、地産地消の環境・食育学習を行っています。</p>			
安全対策	環境・食育学習を行う際には当団体スタッフ以外のボランティアやアルバイトを呼んで、十分な人数で活動を行っています。			
活動実績	<p>2022年度は約8,000人前の食材を提供する事が出来ました。</p> <p>また地産地消の学習では、保育園～大学生まで学生数人単位から学年単位までを対応し、尼崎の海や魚の学習を行っています。</p> <p>保健センターや小学校への出前授業も1年に数回行っており、今年も行う事が出来ました。</p>			
団体のHP	https://mukogawaeco-labo.com			

<p>その他 PR 等</p>	<p>尼崎の海や魚はネガティブなイメージとは違い、魚影も濃い資源豊富な海が今の現状です。</p> <p>その今の尼崎の海や魚の本当の姿を皆さんに知って頂くために、当団体は活動しています。</p> <p>協力して下さる釣り人も年々増えており、提供出来る魚の数も年々増えています。</p> <p>魚を食材としてお渡しした後、残った骨付きの身やアラ部分は再利用しており、B型支援施設とのペットフード開発やアラ部分は魚アラ粉末として肥料登録し、食材以外にも形を変えて活用しています。</p>
-----------------	---